

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	事故は少なくなっているが、ヒヤリハットが多くなっている。どんな小さな事でもヒヤリとしたことを見逃さずに、職員間で指摘し合っているため、数としては多くなっている。	ヒヤリハットを無くす。	個々に意識して一つ一つ取り組み、丁寧な介護を行う。	6ヶ月
2	13	職員は与えられた仕事は行うが、見えない所での仕事や、自ら学ぶ姿勢・スキルアップするための自己投資意欲が低く個人差がある。	個々にスキルアップするための研修や勉強会に参加し、よりよい介護を行う。多角的にみてホームがよくなることを目指す。	積極的に自己投資をし知識をつけてスキルアップする。また日勤リーダーが時間調整をし職員全員でプラスαの業務に取り組む。	12ヶ月
3	2	地域連携が図れていない。秋まつりは地域行事として定着してきており、小中学生や親子連れと交流がある。また施設で小中学生とホームで交流があるが、その他での交流がADLの差や、人によつての差があり図れていない。	地域社会に馴染み生活をする。	近隣の散歩や買い物などの機会を増やす。中学校の文化祭や体育祭に出かけていき、見学や参加など出来ることを見つけて相談しながら行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。